

第3学年

道徳学習指導案

平成23年11月10日(木) 第5校時
在籍児童数 38名

- 1 主題名 みんなのためにできること 内容項目4-(2) 勤労・社会への奉仕
- 2 資料名 「草むしりボランティア」(出典 埼玉県教育委員会 彩の国道徳「みんななかよし」)
- 3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、中学年内容項目の4-(2)「働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。」ことをねらいとしている。この内容項目「勤労・社会へ奉仕」は、低学年の内容項目4-(2)「働くことのよさを感じて、みんなのために働く。」を経て、高学年の内容項目4-(4)「働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。」へ発展していく。今の生活の中で力を合わせて働くことの大切さや、みんなのためにできることを考え、進んで仕事を見つけたり、参加したりできるような態度を身につけさせたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は明るく元気があり、素直な子ども達である。男女の仲もよく、全体的には落ち着いている。しかし、まだまわりを見ることができず、自己中心的な行動をとることがあり、時々問題が起こることがある。日常生活の中で起こる様々な問題の解決をめぐることは、正直に話してくれるため、速やかに解決に導くことはできるが、長続きしない児童もいる。

お手伝いは大好きで、快く引き受けてくれる児童がほとんどである。花瓶が倒れ、水がこぼれた時も、多くの児童が自らの雑巾を持って拭いてくれたりする等の場面が多く見られる。

社会への奉仕についての意識調査を行った結果は下記の通りである。

- | |
|--|
| 1、あなたは家でお手伝いをしていますか。 はい 36人 いいえ 2人
はいと答えた人
どんなお手伝いをしていますか。(犬の散歩4人、食事の準備・後片付け16人、風呂掃除9人、洗濯物をたたむ9人、そうじ3人、弟妹の世話3人、ゴミ捨て3人、くつみがき、布団たたみ、雨戸の開閉、洗車)・・・複数回答
お手伝いを終えたときはどんな気持ちですか。(いい気持ち10人、スッキリ5人、嬉しい8人、やったーという気持ち4人、ありがとうといってもらえて良かった3人、おわったー2人、疲れる2人、ためになってよかった、ほっとする、つぎもがんばるぞ)・・・複数回答 |
| 2、あなたは地域のお手伝いをしたことがありますか。 はい 24人 いいえ 14人
はいと答えた人
どんなお手伝いをしましたか。(草取り22人、ゴミ拾い3人、そうじ2人、どぶそうじ、PTAのパトロール)・・・複数回答
お手伝いを終えたときはどんな気持ちでしたか。(スッキリ8人、楽しかった4人、嬉しい4人、気持ちがいい3人、きれいになって良かった2人、腰が痛くなった)・・・複数回答 |
| 3、あなたはボランティアという言葉を知っていますか。 はい 27人 いいえ 11人
はいと答えた人
どんなボランティアを知っていますか。(被災地のボランティア7人、パトロール6人、24時間テレビ7人、ゴミ拾い2人、草取り2人、募金活動2人、炊き出し)・・・複数回答
あなたは参加したいと思いませんか。 はい 36人 いいえ 2人 |

このことより、家庭でもお手伝いをしている児童が多く、勤労・社会への奉仕には抵抗はない。そしてほとんどの児童が、お手伝いを終えた後満足感を感じていることがわかる。しかし、この資料では遊びとボランティアを選択しなければならないので、葛藤しつつも社会への奉仕の大切さを

感じ、満足感を得られるということを理解させたい。

(3) 資料について

久しぶり昼休みにサッカーができるという日、草むしりボランティアの話先生からされる。草むしりをやった方がいいのはわかっていたが、自分の都合のいいように解釈し、サッカーをすることを優先する。しかし、ふとまわりを見ると、手の小さな1・2年生や上級生が一生懸命草むしりをやっている姿を見て、胸がしめ付けられ一緒に参加した主人公。草むしりを終えた後に見たグラウンドが輝いて見えた。誰かがやるからいいだろう・・・ではなく、自ら進んでみんなのためにできることをする喜びを感じられる心を育てたい。

4 研修主題とのかかわりと他の教育活動等との関連

「生きる力」をはぐくむ小中一貫教育の推進
人とかかわりを大切にし、共によりよく生きようとする子どもの育成
(道徳教育を通して)

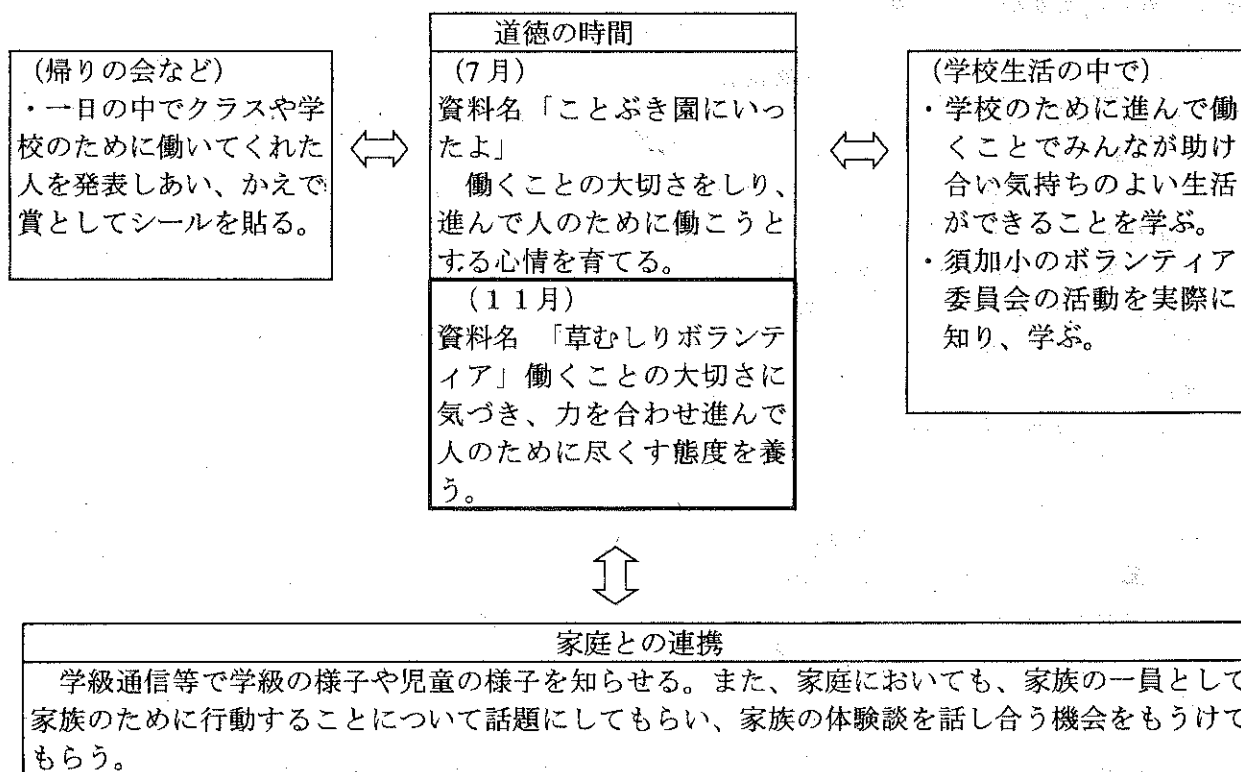
(1) 研修主題とのかかわり

本時で扱う「勤労・社会への奉仕」を通して、人とかかわることの気持ちよさや、人のためになることを進んで考え行動することのすばらしさを感じ取らせたい。

児童一人一人に自分の考えをわかりやすく表現させる工夫として、話し合いの中で役割演技を入れる。「深める」の最初の部分で、「ぼく」の気持ちになって久しぶりのサッカーと草むしりのどちらを優先させるかの葛藤を実感させる。そしてその後の気持ちの変化に気づかせる。

終末では、児童一人一人がクラスや学校・友だちのためにやってくれていることを発見し、自分も友だちも社会奉仕の心を持っていることに気づき、これからも働くことの大切さを理解し進んでみんなのために働くことによって、誰もがよりよく生きられることをとらえさせる。

(2) 他の教育活動との関連



5 本時のねらい

はたらくことの大切さを知り、進んでみんなのために働こうとする心情を育てる。

	持ちばどんなだったでしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・きれいになったグラウンドをみて嬉しい。 ・ところが晴れ晴れとした ・これから、気持ちよくサッカーができるぞ。 ・みんな楽しく遊べるぞ。 ・みんなのためにやってよかった。 	<p>ることの大切さと充実感を感じさせることができたか。【観察・発表】</p>	
見 つ め る	<p>5 今日の学習を振り返る。</p> <p>◎自分のためだけでなく、みんなのために働いた時の気持ちはどうだったでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちがいい。 ・スッカリする。 ・みんなが喜んでくれるのでやって良かったと思う。 ・褒められて嬉しい。 ・みんなのためにもっとやりたい。 ・人に役に立つことって楽しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行為だけでなく、その時の気持ちも発表させる。 ☆働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くことで得られる充実感・達成感・気持ちのよさをを感じる事ができたか。【発表・観察】 ・身近なところで、子供たちにも簡単にできることを発表させ、これから取り組んでいくために興味を持たせる。 	7分
終 末 あ た た め る	<p>6 教師の説話を聞く。普段の子ども達の様子から、みんなのために働いてくれた事をキラキラハートワッペンで評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が、人のためにやったことがとても喜ばれていたことに気づき、働く意欲がわいてくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が気がつかないところでも人のためになっていたことに気づかせる。 ◇働くことへの関心や意欲を高めることができたか。【発表・観察】 	3分

6 評価の観点

☆主人公の気持ちになって、自ら進んで人のためになる仕事をする事の大切さを感じることができたか。【発言、ワークシート、観察】

◇役割演技や葛藤に気付かせる工夫はねらいに即して効果的だったか。【発言、観察】

7 板書計画

